

バレンタインデー

14日はバレンタインデー。百貨店やスーパーには、おしゃれでおいしいようなチョコレートが並んでいますね。好きな人にチョコを贈る日というだけでなく、友達や家族に日頃の

感謝を伝える機会と捉えている人も多いようです。一方で、「自分には関係ない」と感じている人も。皆さんは、このイベントをどう思いますか。(吉田瑠里)

あなたにとってバレンタインとは?(複数回答)

男性		女性	
1位	何かもらうのが楽しみ	1位	チョコやスイーツが食べられてうれしい
	好きでも嫌いでもない	2位	日頃の感謝を伝える良い機会
3位	自分には関係ない	3位	恋人におくり物ができる良い機会

13~59歳の男女5000人を対象としたLINEリサーチの2020年1月の調査から

バレンタインデーはもともヨーロッパの行事だ。関西大名誉教授の浜本隆志さんによると、三世紀の古代ローマ時代、キリスト教のバレンタイン司祭が皇帝の命令に背いて兵士たちの

◆ チョコは日本だけに定着

◆ ローマの伝説由来の習慣

食品ロス 生まれがち

「贈り物にはお返し」が「女性から男性にプレゼントをする」という日本古来の習慣にちなみ、菓子業界が八〇年前後に提案した。その後、職場で配る「義理チョコ」が登壇。最近では、友達と渡し合う「友チョコ」が増えている。

LINEリサーチが昨年一月、女性二千七十四人に、バレンタインデーにチョコなどを贈る相手を聞いたところ、十代の回答は「友達」「父親・母親」「兄弟姉妹」の順に多く、「自分」と答えた人も22%いた。二十代は「恋人」、三十代と四十代以上では「夫・パートナー」が一位だった。

一方で、食べ物を無駄にする食品ロスが増える心配もある。二〇一九年の家計調査では、チョコレートへの支出額は二月が最も多く、十四日を境に急減した。食品ロス問題に詳しい愛知工業大教授の小林富雄さんは「メーカーはイベント直前に欠品できないため、多めに作りがち。翌日以降、多数の返品、廃棄が生まれる」と指摘。「必ずしも、特定の日に特定の物を贈らなくてもいいのでは」と問い掛ける。

大切な人との絆確認

「女性から男性に」が一般的だったバレンタインデーも、時代とともに形を変え、今では性別も年齢も関係なく、自由にプレゼントをするイベントになってきた。「贈り物には、人と人との絆を確認する意味もある」と浜本さん。「日頃の愛情や感謝を伝える日として、チョコを贈る対象が広がった」と言う。

「大切なのは、その人に贈りたいという気持ち。イベントに振り回されて、気持ちがあってもいけないチョコをあげても、相手との関係は良くならない。自分の気持ちをしっかり見つめて」と話す。

「大切なのは、その人に贈りたいという気持ち。イベントに振り回されて、気持ちがあってもいけないチョコをあげても、相手との関係は良くならない。自分の気持ちをしっかり見つめて」と話す。

今年のバレンタインデーはどんなふうにご過ごし
ますか。皆さんの意見を送ってください。紙面で
紹介したお子さんの中から抽選で図書カードをプ
レゼント。応募は〒460 8511 中日新聞(東京新
聞)生活部「学ぶ」係=ファクス052(222)5284、メール=sei
katu@chunichi.co.jp=へ。QRコードから、ワークシ
ート兼応募用紙もダウンロードできます。18日締め切り。



皆さんの意見を
送ってください